

学年	教科等	単元名	日時
第4学年	社会科	自然災害から命を守る	令和3年11月5日(金)5校時
研究内容1 の手立て	<p>「挑む」段階における子どもの協働的な学びを実現する教師の働きかけ</p> <p>本時は、防災手帳を見直すための視点を見付ける時間である。個人で考えさせた後、グループで意見をもち寄らせ、それを「表」に図式化していくなかで、防災手帳の有用性に対して、人によって様々な見方や考え方をしていることにふれることができるようになり、防災手帳を見直す視点をもつことができるようになる。</p>		
研究内容2 の手立て	<p>子どもが自分と社会とのかかわりを見いだすまとめの在り方</p> <p>本時では、防災手帳を見直す際には、一人の力ではできることが限られることに目を向け、「家族と話し合う」や「実際にやってみる」といった視点に気付くことができるようになる。</p>		

### 防災手帳の有用性をみていくときの「視点」の設定

防災手帳(お守り手帳)に書かれていることは、みんなの役に立つかな?  
実際に書かれていることを見ていこう。

防災手帳(お守り手帳)にあるこのページは、どのように役に立つかな?

考えていくための視点をそろえるために、防災手帳に書かれてある「みんなのことを守ってくれる施設」のページを基に、考えを出させた。  
「役に立つ」「役に立たない」という観点で意見を出させることで、防災手帳を見ていくときの「視点」を明確にした。

### 個人の「考え」と仲間の「考え」との共有

地図を丁寧に書いているのはいいけれど、浸水の深さなど危ないところが分からないぞ。

わたしも、同じことを思ったよ。  
公衆電話の場所も分かるといいんじゃない?

ぼくは、地図のなかに浸水の深さなどを入れていいかないと、いざという時に役に立たないとと思うけれど…。

【タブレットに自分の考えをまとめる段階】 → 【仲間と考えたことを共有し合う段階】

### 全体での「考え」の共有と見直す視点の話合い

ぼくは、地図のなかに浸水の深さを入れていいかと思います。  
なぜなら…。

ぼくも、そう思います。付け加えて、公衆電話の場所も書いておくといいのかなと思います。  
なぜなら…。

「役に立つ」と「役に立たない」とを出してもらったけれど、「役に立たない」ことをどうして直していく必要があるのかな?

自分に役に立つ情報を書き込んでおかないと、いざという時に自分の命を守ることができないからだと私は思います。

【個人の「考え」を発表する段階】

【まとめを伝え合う段階】

### 「自分」と「社会」とのかかわりに目を向けさせるために

学習を進めていくなかで、家族防災会議を実際に行っている子どもがいることが分かったので、その子の体験を聞かせ、なぜそれをしているのかを考えさせることで、「話し合うこと」「実際にを行うこと」の重要性に気付かせるようにした。

防災手帳と一緒に見直してみるといいなあ。1年生でそういえば、一緒に作ったね。

ぼくの家では、毎月27日に防災会議を行っています。そのなかで、実際に避難をして、もう一歩だったところを見直していくなどしています。  
先月は、防災マップを見ながらどれくらい水が出るのかを確認してみました。家がだいぶ水につかることが分かったので、土のうを積んだ方がいい等を話し合いました。

【考察】 ICT機器の導入に伴い、どのような活用を図ればより効果的なのかについて今後も検証していく必要がある。意見を集約し、考えを見いだすための話し合いの在り方について特に考えていく必要がある。また、じっくりと自分を振りかえらせて考える時間を設定する必要もある。

御意見・御質問はこちちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

## 授業実践計画

### ○ 本時の目標

防災手帳を見直すための視点について考えることができる。

### ○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり				
1 防災手帳の役割と現状を基に、本時の学習問題を設定する。 ○ 防災手帳の役割と現状 ○ 本時の学習問題 どのような防災手帳であれば、いざというときに活用できるものになるだろうか。	○ 大雨による災害に備えや対応について、公助と共に自助の役割をふりかえり、防災手帳のある意味と活用しきれていない現状を確認することで、本時学習問題を設定することができるようとする。				
2 本時の学習について見通しをもつ。 ○ 考えること ・ 防災手帳に挙げられている項目の意味と活用しづらいところ ・まとめ方（表） 「守ってくれる場所」 <table border="1"><thead><tr><th>役に立つこと</th><th>活用しづらい</th></tr></thead><tbody><tr><td>・どのようなマークのところが守ってくれるところなのかが分かりやすい。等</td><td>・実際どこにあるのかが分からない。等</td></tr></tbody></table>	役に立つこと	活用しづらい	・どのようなマークのところが守ってくれるところなのかが分かりやすい。等	・実際どこにあるのかが分からない。等	○ 「守ってくれる場所」を例に挙げ、その項目がある意味と、防災手帳にあっても活用しづらい面について意見を挙げさせ、表にまとめていくことで、本時学習の見通しをもつことができるようとする。 ○ 活用しづらい面について意見が出にくい時には、「場所が分からない」「入りづらい」等の具体例を紹介することで、様々な角度から考えることが大切であることに気付くことができるようとする。
役に立つこと	活用しづらい				
・どのようなマークのところが守ってくれるところなのかが分かりやすい。等	・実際どこにあるのかが分からない。等				
3 防災手帳に挙げられている項目の意味と活用しづらいところについて話し合う。 ○ 防災手帳に挙げられている項目の意味と活用しづらいところについて ① 自分の考え方 ② グループでの話合い（意見の交流）	○ 地図等を実際に書くページについては、情報をあえて制限して書いてあるものを提示し、それを基に考えるようにすることで、活用しやすいという視点に立って考えることができるようとする。 ○ 個人で考えさせた後、グループで意見を持ち寄らせ、それを表に図式化していくことで、防災手帳の有用性に対して、人によって様々な見方や考え方をしていることにふれることができるようとする。				
4 防災手帳の役割について考える。 ○ 防災手帳の役割について ○ 家族防災会議の重要性について ・ 家族で話し合うことの大切さ ・ 実際に行くことの大切さ	○ それぞれの項目についてまとめさせた後、活用しづらい項目に共通することは何かを考えるようにすることで、「命を守るために」という防災手帳の目的に気付くことができるようとする。 ○ 防災手帳をよりよくするためにどうすればよいか問い合わせ、ひとりの力ではできることが限られることに目を向け、「家族防災会議」を行うことに大切さに気付くことができるようとする。				
5 本時学習をまとめめる。 ○ 学習のまとめ 防災手帳には、自分の命を守るために情報を詳しく書いておく必要がある。そのためには、しっかりと家族で話し合ったり、実際にやってみたりするなどして、より活用できるようにする必要があるな。	○ 「家族と話し合う」や「実際にやってみる」といった視点を基にまとめを行うようにすることで、大雨の災害から命を守るために自分の防災手帳が必要なことに気付くことができるようとする。 ○ 家族防災会議を行ったことに関する新聞記事や学習を進める中で子どもが前向きに感じている思いがこもった日記を紹介することで、家族防災会議に対する意欲を高めることができるようとする。				
○ 次時の学習の見通し					

### ○ 本時の評価規準

自然災害から命を守るために必要な防災手帳の見直しを行うための視点を考えることができている。

(思考・判断・表現②) 【ノート・観察・タブレット端末】